

平成24年度
北海道大学大学院歯学研究科
(博士課程)
学生募集要項
(第2次募集)

一般入試 ・ 社会人入試

【注意事項】

・大学院の募集に関する事項は、本募集要項に掲載されています。
出願に当たっては、本要項を熟読のうえ手続きをおこなってください。

・出願の受理は、

- ① **インターネットでの出願登録**
- ② **検定料の支払い(支払い不要の者を除く)**
- ③ **必要提出書類の郵送**

のすべてを出願期間内に完了していることが確認されたもので、本研究科入学試験の出願資格に該当する者についてのみ受理いたします。

・本研究科において、志願者が①～③すべての手続きを出願期間内に完了していることが確認できない場合は、出願を受理いたしませんので十分に余裕をもって手続きをおこなってください。

北海道大学大学院歯学研究科志願者のみなさまへ

本研究科では、大学院生の希望や進路に応じ、きめ細かな指導を行うために、研究テーマ等に関し、入学を志望する方々から事前相談を受け付ける体制をとっております。

つきましては、本研究科を志望される方は、事前に志望する教室の指導教員に研究テーマ等を相談のうえ、出願するようお願いいたします。

教員の連絡先が不明の場合は、以下の1～5の全ての事項を記入のうえ、本研究科教務担当へFAX、またはe-mailでお問い合わせください。後日、志望する教室の担当者から連絡を差し上げます。

1. 氏名
2. 卒業大学名
3. 電話番号
4. e-mail アドレス
5. 志望する教室名と指導教員名

※必ず全ての項目について記載してください。

※未記入の事項があると、連絡できない場合があります。

北海道大学大学院歯学研究科

<問い合わせ先>

〒060-8586

北海道札幌市北区北13条西7丁目

北海道大学歯学研究科・歯学部

教務担当

TEL : 011-706-4204

FAX : 011-706-4919

e-mail : kyomu@den.hokudai.ac.jp

北海道大学大学院歯学研究科 アドミッション・ポリシー

北海道大学大学院歯学研究科は歯学及び口腔保健医療の発展のため、最新の歯学の学問分野及び研究領域に対応し、かつ歯学に関する教育研究の進歩を担う研究者及び教育者の養成並びに専門分野における高度な知識及び歯科医療技術を有する高度専門職業人の育成を行っています。

そのために、研究者・教育者養成コースでは、学内外を問わず、また歯科医師免許の有無にかかわらず、歯学・生命科学の領域で研究・教育を展開する意欲の高い人材を求めています。

高度専門臨床歯科医養成コースでは、専門分野における高度な知識と歯科医療技術を身に付けると同時に研究マインドも育て、高度化・専門化する歯科医療に対する社会の要求に応える意欲の高い学生を求めています。

平成24年度 北海道大学大学院
歯学研究科（博士課程）学生募集要項（第2次募集）

1. 趣 旨

北海道大学大学院歯学研究科は歯学及び口腔保健医療の発展のため、最新の歯学の学問分野及び研究領域に対応し、かつ歯学に関する教育研究の進歩を担いうる研究者及び教育者の養成並びに専門分野における高度な知識及び歯科医療技術を有する高度専門職業人の育成を目的として、一般入試、及び社会人入試を行う。

（社会人入試について）

近年、口腔保健医療に対する要求はますます高度化・多様化してきており、このような社会的ニーズに応えるために、開業歯科医師や勤務歯科医師、あるいは歯学・歯科医療関連機関に在籍する研究者の中にも、大学院歯学研究科に進学して最新の歯学の知識・技術を学びたいと希望する者が増加している。

そこで、本研究科では社会人が在職のまま大学院に進学し、高度な口腔医学教育を受けることが可能となるように、大学院設置基準第14条による教育方法の特例を適用し、社会人入試を行う。

2. 専攻・募集人員

口腔医学専攻 若干名（社会人入試 若干名を含む。）

3. 専修分野・教室・試験科目

専 攻	専修分野	教 室	試 験 科 目
口 腔 医 学	口腔機能学	口腔機能解剖学	口腔解剖学
		口腔生理学	生理学・口腔生理学
		○口腔機能補綴学	有床義歯補綴学
		リハビリ補綴学	冠橋義歯補綴学
		○歯科矯正学	歯科矯正学
		○小児・障害者歯科学	小児歯科学
	口腔健康科学	硬組織発生生物学	口腔組織学・同発生学
		口腔分子生化学	生化学・口腔生化学
		生体理工学	歯科理工学
		○予防歯科学	予防歯科学
		歯科保存学	保存修復学
		○歯周・歯内療法学	歯周病学
	口腔病態学	○高齢者歯科学	高齢者歯科学
		口腔病理病態学	病理学・口腔病理学
		口腔分子微生物学	細菌学・口腔細菌学
		細胞分子薬理学	薬理学・歯科薬理学
		○口腔診断内科学	口腔内科学
		○口腔顎顔面外科学	口腔外科学
		歯科放射線学	歯科放射線学
		○歯科麻酔学	歯科麻酔学
	顎機能医療学 （協力講座）	血管生物学	病理学・口腔病理学
顎咬合学		注1)	
顎口腔機能改善学			
顎口腔形成学			

○印は、「研究者・教育者養成コース」に加え、「高度専門臨床歯科医養成コース」を設定。
（社会人学生、及び外国人留学生は除く。8～9頁参照。）

注1) 口腔外科学，口腔内科学，有床義歯補綴学，冠橋義歯補綴学及び小児歯科学から1科目を選択すること。

4. 出願資格

【一般入試】

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 大学における歯学を履修する課程、医学を履修する課程又は修業年限6年の獣医学若しくは薬学を履修する課程（以下「歯学等の課程」という。）を卒業した者又は平成24年3月までに卒業見込の者
- (2) 外国において、学校教育における18年の課程（最終の課程は歯学等の課程）を修了した者又は平成24年3月までに修了見込の者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における18年の課程（最終の課程は歯学等の課程）を修了した者又は平成24年3月までに修了見込の者
- (4) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程（最終の課程は歯学等の課程）を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は平成24年3月までに修了見込の者
- (5) 文部科学大臣の指定した者（下記の【注記】参照）
- (6) 大学（歯学等の課程に限る。）に4年以上在学し、又は外国において学校教育における16年の課程（歯学等の課程を含むものに限る。）、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程（歯学等の課程を含むものに限る。）若しくは我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程（歯学等の課程を含むものに限る。）を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、本研究科において、本学における所定の単位を優れた成績をもって修得したと認めた者
- (7) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成24年3月31日までに24歳に達する者

【注記】文部科学大臣の指定した者(昭和30年文部省告示第39号)（抜粋）

- (ア) 旧大学令による大学の歯学又は医学の学部において歯学又は医学を履修し、これらの学部を卒業した者
- (イ) 防衛省設置法による防衛医科大学校を卒業した者
- (ウ) 修士課程又は学校教育法第99条第2項の専門職大学院の課程を修了した者（平成24年3月修了見込みの者を含む）並びに前期及び後期の課程の区分を設けない博士課程に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた者で本研究科において、大学の歯学等の課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
- (エ) 大学（歯学等の課程を除く）を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、大学の歯学等の課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

【社会人入試】

上記【一般入試】各号のいずれかに該当し、本研究科入学時にすでに就業しているか、または入学後に就業することが見込まれる者

備考

- 1) 授業科目の中で、臨床実習科目の履修を希望する者については、歯科医師（又は医師）免許証を有していなければならない。
- 2) 出願資格(4)、(5)、(6)及び(7)により出願しようとする者は、事前審査を必要とするので、平成24年1月27日(金)までに本研究科教務担当へ申し出ること。

5. 出願手続

(1) 出願期間

平成24年2月6日（月）～平成24年2月13日（月）

出願手続は、①インターネットでの出願登録、②検定料の支払い（支払い不要の者を除く）、③必要提出書類の郵送のすべてが出願期間内に完了（到着）していることが確認されたもので、本研究科入学試験の出願資格に該当する者についてのみ受理いたします。

インターネットで出願登録をおこなっただけでは手続完了となりませんのでご注意ください。

①インターネットでの出願登録

- 1) 北海道大学大学院歯学研究科のホームページ (<http://www.den.hokudai.ac.jp/>) よりインターネット出願サイトにアクセスしてください。

注1) 事前に操作手順や注意事項を必ず確認してください。

注2) 本サイト利用にあたり、必要書類の出力、申込み及び入学検定料支払いの完了メールの通知を受信するため、プリンター及びメールアドレスが必要となります。必ず事前にプリンター及びメールアドレス（携帯電話のメールアドレスは不可）を用意してください。

- 2) 画面のガイダンスに従い必要事項を選択、入力してください。
- 3) 必要事項の入力が正常に完了すると、登録されたメールアドレス宛に「出願完了メール」が届きます。

②検定料の支払い

- 1) インターネット出願後に表示される支払手続き画面に従い、支払手続きを行ってください。次のⅠ、ⅡまたはⅢのいずれかの方法により支払ってください。

Ⅰ. クレジットカードによる支払い

「カード番号」「有効期限」「カード名義」「セキュリティコード」を入力してください。

Ⅱ. Pay-easy（銀行ATM、ゆうちょ銀行ATM、ネットバンキング）、コンビニエンスストア、ジャパンネット銀行、イーバンク銀行による支払い

【Pay-easyの場合】

支払機関選択後に発行される「収納機関番号」「お客様番号」「確認番号」を必ずメモし、Pay-easy 対応 ATM で支払ってください。

【コンビニエンスストアの場合】

支払機関選択後に発行される「お客様番号」「確認番号」又は「オンライン決済番号」を必ずメモし、コンビニエンスストアで支払ってください。

（ローソン、ファミリーマート、サークルKサンクス、ミニストップ、デイリーヤマザキにて利用可能です）

【ジャパンネット銀行、楽天銀行の場合】

画面の説明に従い支払ってください。

Ⅲ. 中国銀聯網決済（ChinaPay）による支払い

各銀行の支払い画面にて、「銀行口座番号」「有効期限」「パスワード」などの支払い情報を入力し支払ってください。

- 2) 支払機関により支払に必要な情報や方法が異なりますので、画面の説明を必ず確認してください。

※クレジットカードまたは中国銀聯網カードによる支払いができない者で、出願時に海外に在住する者は、日本国内にいる者に依頼して、Ⅰ又はⅡの支払方法より支払ってください。

③必要提出書類の郵送

- 1) インターネット出願後に作成される願書，及びその他出願に必要な書類（5頁参照）を封筒に入れ，願書と一緒に印刷される宛名ラベルを封筒に貼り，封筒表面に「大学院歯学研究科入学願書在中」と朱書のうえ，必ず「書留」扱いにし発送してください（出願期間内必着）。

郵送先については，7頁を参照。

窓口で直接提出書類を持参する場合は，以下のとおりです。

受付時間：午前9時から午後4時30分まで（土曜・日曜・祝日を除く）

受付場所：北海道大学歯学研究科・歯学部 教務担当窓口

- 2) **全ての書類が本学に到着した時点をもって出願手続完了となります。インターネットで出願登録を行っただけでは出願手続完了となりませんので，ご注意ください。**

注）出願期間後に到着した出願書類は受理しませんので，郵便事情等を考慮して余裕をもって発送してください。なお，必要に応じて「速達書留」扱いにしてください。

インターネット出願に関する問い合わせ

- (1) 問い合わせ方法

お電話で受け付けます。

- (2) 問い合わせ先

「学び・教育」出願・申込サービスサポートセンター

電 話：0120-708898（平日10時～18時）

※上記フリーダイヤルが利用できない方

03-5804-5515（平日10時～18時）

(2) 出願書類及び検定料

一般入試に出願する者は、次に掲げる①～⑥の書類を、社会人入試に出願する者は、次に掲げる①～⑨の書類を準備し、出願期間内に提出してください。

① 入学願書	インターネット出願サイトにて、必要事項の入力後に作成される願書をA4版で印刷のうえ提出すること。
② 受験票及び写真票	インターネット出願サイトにて、願書と一緒に印刷される写真票に、出願前3か月以内に撮影した上半身、脱帽、正面向きの写真(縦4cm×横3cm)を所定の欄に貼ること。なお、写真の裏には、氏名を記入すること。
③ 成績証明書	出身大学(学部)長の発行するもので厳封したもの。 ただし、本学部卒業(見込)者は不要。大学院修士課程の修了(見込)者は、修士課程の成績証明書も提出すること。
④ 卒業(見込) 修了(見込) 証明書	本学部卒業(見込)者は不要。
⑤ 検定料	30,000円 (本学大学院修士課程修了見込の者で、引き続き本研究科を受験する場合は不要) 《納入方法》 ① 検定料は、インターネット出願後に表示される支払手続き画面に従い、支払手続きを取ること。支払方法は以下のとおり。(3頁参照) Ⅰ. クレジットカードによる支払い (VISA, MasterCard, JCB, AMERICAN EXPRESS等) Ⅱ. Pay-easy(銀行ATM, ゆうちょ銀行ATM, ネットバンキング), コンビニエンスストア, ジャパンネット銀行, 楽天銀行による支払い (支払方法の選択後に発行される各種支払用の番号を忘れずにメモし、各支払機関に持参すること。) Ⅲ. 中国銀聯ネット決済(ChinaPay)による支払い 注) クレジットカード又は中国銀聯カードで支払いができない者で、出願時に海外に在住する者は、日本国内にいる者に依頼して、Ⅰ又はⅡのいずれかの方法により支払うこと。 ② 普通為替や現金では受理できないので、注意すること。 ③ 支払い後に受け取るお客様控え又は支払完了通知メールを印刷したものは、本人の控えとして大切に保管すること。大学への提出不要。
⑥ 受験票送付 返信用封筒	角形2号封筒(A4用紙が折らずに入る封筒)に宛先(郵便番号を含む)を明記し、390円切手(速達料を含む。)を貼ったもの。
⑦ 受験承諾書	出願時に在職中、または就業見込の者は、当該所属長の受験承諾書を提出すること。 様式については、インターネット出願サイトよりダウンロードし、A4版で印刷のうえ、作成すること。
⑧ 志望理由書	インターネット出願サイトよりダウンロードし、A4版で印刷のうえ、作成、提出すること。
⑨ 就業(見込) 証明書	所属長が発行したものを提出すること。 様式については、インターネット出願サイトよりダウンロードし、A4版で印刷のうえ、作成すること。

※1 出願書類の提出先については、7頁を参照

※2 入学後、履歴中に虚偽の事項を記載し又は当然記載すべき事項を記入しなかったことが判明した場合は、入学を取り消すことがある。

※3 検定料の返還については、7頁を参照。

6. 入学者選抜方法

学力検査(筆記試験、面接試験)及び成績証明書の結果を総合して判定します。

(1) 筆記試験

- ① 専門科目：志望する教室に関する試験科目を含め2科目を選択してください。
なお、志望教室以外の試験科目は、専修分野にかかわらず、すべての試験科目から選択できます。(1頁参照)
- ② 外国語(英語)：辞書の持込みは可としますが、電子機器の使用は認めません。
なお、外国人留学生の外国語試験は、「日本語」とします。

(2) 面接試験：志望する教室ごとに行います。

7. 試験期日及び場所

試験日	区分	時間	場所	
平成24年 2月26日(日)	専門科目	10:00~12:00	本学大学院 歯学研究科	
	外国語(英語) (外国人留学生は日本語)	I		13:00~13:55
		II		14:00~14:55
	面接試験	15:00~		

外国人留学生の面接試験は、2月27日(月)に行う。

8. 合格者の発表

平成24年3月16日(金)午後5時

本学大学院歯学研究科玄関ホールに掲示します。
なお、本人宛にも郵送で通知します。

9. 入学手続等

入学料：282,000円(予定額)

※本学大学院修士課程修了見込の者で、引き続き本研究科へ入学する場合は不要。

授業料：前期分 267,900円(年額 535,800円)(予定額)

注)上記の納付金は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金が適用されます。

10. 検定料の返還について

出願書類を受理した後は、次の（１）の場合を除き、いかなる理由があっても払込済の検定料は返還しません。

（１）検定料の返還ができるもの

① 検定料を払い込んだが北海道大学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった、または出願が受理されなかった）場合

② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合

（２）返還請求の方法

①返還請求の理由 ②氏名(ふりがな) ③現住所 ④連絡電話番号 ⑤返還先の銀行名・支店名・口座種別・口座番号・口座名義(ふりがな)を明記した検定料返還請求書(様式任意)を作成し、必ず「検定料受付証明書」を添付して、本研究科教務担当へ速やかに郵送してください。

なお、払戻しには相当の日数がかかるのでご了承願います。

出願が受理されなかった場合については、本学から別途返還に必要な書類を郵送します。

11. 歯学研究科における長期履修の取扱いについて

本研究科では、長期履修制度（通常４年間で課程を修了するが、職業を有している等の事情により標準修業年限（４年間）を超えて一定の期間（最高２年）延長することができる制度）を実施しています。

長期履修を希望する者は、指導予定教員とあらかじめ十分に相談のうえ申請願います。申請を希望される方は、必ず出願前に教務担当へ申し出願願います。

〈 出願書類の提出先 〉

〒060-8586 札幌市北区北13条西7丁目
北海道大学歯学研究科・歯学部 教務担当
(TEL : 011-706-4204)

平成24年1月

大学院歯学研究科における2つの養成コースについて

近年、医療系大学院に対して、従来からの研究者・教育者の養成に加えて、業務に必要な能力と研究マインドを持った高度専門職業人を養成することが求められようになってきました。

そこで、北海道大学大学院歯学研究科では、従来の研究者・教育者養成コースに加え、平成19年度から、新たに高度専門臨床歯科医養成コースを設置しています。

【研究者・教育者養成コース】

(1) 教育研究目標

研究者・教育者として自立するために必要な教育研究能力を涵養し、歯学・歯科医療における特定の分野についての深い研究や高度な教育を行いうる人材を養成することを目標とする。

(2) 教育内容

歯学・生命科学等の領域で、研究者・教育者として将来自立できる幅広い専門的知識と、研究に必要な実験のデザインなどの研究手法や研究遂行能力、教育指導能力を修得させる。

【高度専門臨床歯科医養成コース】(社会人学生、外国人留学生は、選択できません。)

(1) 教育研究目標

高度専門職業人としての歯科医師に必要な幅広い専門的知識・臨床能力と問題解決のための研究マインドを持った歯科医師を養成する。特に臨床面において、大学院修了後に専攻した各専門領域における認定専門医資格を最短期間で取得できる専門的知識と臨床能力を持った歯科医師を養成することを目標とする。

(2) 教育内容

歯科医療・福祉等の分野で、専門医あるいは高度専門職業人としての歯科医師に必要な幅広い専門的知識と臨床能力、ならびに臨床研究の遂行に必要な研究手法や能力を修得させる。そのため、このコースを選択した大学院生には、資格取得に必要な症例を優先的に配当することになっている。

※) 2つのコースは、在学期間中一度に限りコースを変更することができます。詳しくは、教務担当へお問い合わせください。

〈 問い合わせ先 〉

〒060-8586 札幌市北区北13条西7丁目
北海道大学歯学研究科・歯学部 教務担当
(TEL : 011-706-4204)

		研究者・教育者養成コース	高度専門臨床歯科医養成コース
コース 選択に ついて	選択 資格	全ての大学院学生	日本の歯科医師免許を有する者
	備考		社会人学生，及び外国人留学生は除く
教育 プロ グラム	特 徴	研究遂行能力及び教育指導能力の養成	歯科医療分野の専門的知識及び臨床研究能力の養成
	必修・ 選択必修 の 授業科目	歯学研究概論（2） 歯学研究基本技法（2） 発表・論文執筆法演習Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ（4） 歯学研究専門技法（4） 歯学研究セミナー（2） 専修科目（2） 研究科目（15）	歯学研究概論（2） 発表・論文執筆法演習Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ（4） 歯学研究セミナー（2） 専修科目（2） 研究科目（5） 臨床実習科目（15）
	選択 科目	臨床実習科目 教育実習技法	歯学研究基本技法 歯学研究専門技法 教育実習技法
課程修了の認定		<ul style="list-style-type: none"> ・上記「必修・選択必修の授業科目」必要単位数（31単位以上）を修得 ・研究論文を提出し審査に合格 	<ul style="list-style-type: none"> ・上記「必修・選択必修の授業科目」必要単位数（30単位以上）を修得 ・臨床研究論文を提出し審査に合格 ・臨床能力評価試験に合格

各教室における教育プログラムについて，1年次は基本的に両コースとも共通であり，2年次以降にそれぞれのコースに適した教育プログラムが組まれる。

高度専門臨床歯科医養成コースを設定する専修分野・教室

専攻	専修分野	教室	学会認定専門医	1学年の 募集人数
口 腔 医 学	口腔機能学	口腔機能補綴学	日本補綴歯科学会認定「補綴歯科専門医」	2～3
		歯科矯正学	日本矯正歯科学会認定医・同学会専門医	2～3
		小児・障害者歯科学	日本小児歯科学会認定「小児歯科専門医」 日本障害者歯科学会認定医	1～2
	口腔健康科学	予防歯科学	日本口腔衛生学会認定医	1～2
		歯周・歯内療法学	日本歯周病学会「歯周病専門医」 日本歯科保存学会認定「保存治療専門医」	2～3
		高齢者歯科学	日本老年歯科医学会認定医	2～3
	口腔病態学	口腔診断内科学	日本口腔外科学会認定「口腔外科専門医」	2～3
		口腔顎顔面外科学	日本口腔外科学会認定「口腔外科専門医」	2～3
		歯科麻酔学	日本歯科麻酔学会認定「歯科麻酔専門医」	1～2

大学院設置基準第14条による教育方法の特例による教育の実施について

歯学研究科のカリキュラムは、学生が自らの目的に応じて自主的にカリキュラムを組み、必要な科目を体系的に履修することにより、各々の学習目標を達成することができるように工夫されています。

本研究科では、社会人が在職のまま大学院に進学し、高度な口腔医学教育を受けることが可能となるように、大学院設置基準第14条による教育方法の特例を適用し、社会人学生を対象とした授業を第5時限～第6時限（18:00～21:15）に開講しています。これ以外にも土・日曜日、夏季休暇等を利用した集中講義を行うなど、履修者の利便性に配慮して柔軟に運用することになっています。

なお、社会人学生であっても、第1時限～第4時限（8:45～16:15）に開講される授業を受講しても構いません。

但し、大学院臨床実習科目については、北海道大学病院で行う実習のため、この授業科目を選択する場合には、第1時限～第4時限（8:45～16:15）に受講しなければなりません。

また、大学院共通必修科目のうち、歯学研究概論については1年次に履修することが望ましいですが、それ以外の授業科目については、大学院在学中のいずれの期でも履修可能です（隔年開講科目を除く）。

履修方法・研究指導・学位論文等についても、指導教員との間で十分に相談する必要があります。授業の前後、土・日曜日、夏季休暇等を利用した集中講義の前後及び電話やFAX、電子メール等を活用してください。

(参考)

【大学院設置基準】

第14条 大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

研究内容一覧

口腔機能学専修

教室名	指導教員	主たる研究内容
口腔機能解剖学	教授 土門卓文	1. 硬組織吸収に関する研究
		2. 破骨細胞の多核化に関する研究
	准教授 高橋 茂	3. メカニカルストレスに対する骨細胞の細胞応答に関する研究
		1. 唾液腺萎縮メカニズムの病理組織学的解析
口腔生理学	教授 船橋 誠	2. 唾液腺組織再生に関する研究
		3. ソフトフード摂取が口腔諸組織に与える影響について
	教授 船橋 誠	1. 摂食行動の調節メカニズムに関する神経生理学的研究
		2. 悪心・嘔吐の中枢機構に関する研究
口腔機能補綴学	教授 横山 敦郎	3. 脳機能に関する電気生理学的研究
		1. カーボンナノ物質の生体材料への応用に関する研究
	准教授 齋藤 正 恭	2. デンタルインプラントを目的としたチタンの表面改質に関する研究
		3. 口腔機能と脳活動に関する研究
リハビリ補綴学	教授 大畑 昇	1. 有限要素解析による欠損補綴の動態の研究
		2. 部分欠損症例の予後に関する基礎的ならびに臨床的研究
	講師 上田 康夫	3. 生体人工材料(インプラントを含む)の利用による咀嚼機能回復
		1. 顎顔面補綴に関する臨床的研究
歯科矯正学	教授 飯田 順一郎	2. 歯科材料の臨床応用に関する研究
		3. 歯根膜の再建に関する臨床的研究
	准教授 佐藤 嘉晃	1. ラビッドプロトタイプングの医療への応用に関する研究
		2. 歯科CAD/CAMシステムに関する研究
小児・障害者歯科学	教授 八若 保孝	3. エビテーゼを利用した顎顔面補綴に関する臨床的研究
		1. 機械的刺激による組織改造現象の機構およびその加齢変化に関する研究
	特任准教授 加我 正行 (平成24年3月31日退職予定)	2. 顎変形症、顎機能異常患者の診断および治療法に関する研究
		3. 咀嚼、嚥下、発音に関する基礎的および臨床的研究
小児・障害者歯科学	教授 八若 保孝	1. 頭蓋顎顔面領域の成長発育に関する研究
		2. 口蓋裂患者の診断および治療法に関する研究
	特任准教授 加我 正行 (平成24年3月31日退職予定)	3. 矯正用歯科材料の開発
		1. 乳歯の生理的歯根吸収に関する研究
小児・障害者歯科学	教授 八若 保孝	2. 病的歯根吸収とそれに伴う修復機構に関する研究
		3. 乳歯列の咬合異常に関する研究
	特任准教授 加我 正行 (平成24年3月31日退職予定)	1. レジンと歯質の接着構造の解析
		2. 口腔内に潜伏する微生物の研究
小児・障害者歯科学	特任准教授 加我 正行 (平成24年3月31日退職予定)	3. 修復材料の溶出成分が小児歯周組織の免疫反応に与える影響の解析

口腔健康科学専修

教室名	指導教員	主たる研究内容
硬組織発生生物学	教授 網塚 憲生	1. 骨代謝調節因子の作用機序における細胞生物学的研究 2. 骨の発生・再生における細胞学的・遺伝子工学的研究 3. 骨の細胞の構造・機能における形態学的・分子生物学的研究
	准教授 山本 恒之	1. セメント質の発生と再生に関する形態学的研究 2. セメント芽細胞の由来に関する形態学的研究・分子生物学的研究 3. ヘルトビッチ上皮鞘の運命に関する形態学的研究
口腔分子生化学	教授 田村 正人	1. 硬組織形成機構に関する生化学・分子生物学的研究 2. 口腔組織の再生に関する生化学・分子生物学的研究 3. 遺伝子発現制御法とその応用
生体理工学	教授 亘 理 文 夫	1. ナノ/マイクロ微粒子の生体適合性とバイオ応用・開発 2. 傾斜機能型インプラントの開発 3. 繊維強化プラスチック型審美性矯正ワイヤーの開発
	准教授 赤坂 司	1. カーボンナノチューブの細胞培養への利用 2. カーボンナノチューブによる殺菌材の開発 3. 歯科領域における糖鎖工学の利用
予防歯科学	准教授 本多 丘 人	1. 小児の歯科保健に関する疫学研究 2. 顎機能障害の疫学 3. 地域歯科保健に関する研究
歯科保存学	教授 佐野 英彦	1. 保存修復に関する研究 2. 齶蝕制御に関する研究 3. 修復材料の生体適合性に関する研究
	准教授 小松 久 憲	1. 根尖性歯周炎の治療法に関する研究 2. 難治性感染根管から分離された細菌の分子生物学的研究
歯周・歯内療法学	教授 川浪 雅光	1. 歯周病の原因及び発症と進行のメカニズムの研究 2. 歯周病の新しい診査・診断法の開発研究 3. 歯周病の治療法とくに新しい再生療法の研究
	准教授 菅谷 勉	1. 歯内・歯周疾患および外傷による歯周組織破壊の研究 2. 歯周組織再建のための外科療法の研究 3. 歯周組織再生のための組織工学的研究
高齢者歯科学	特任教授 井上 農夫男 (平成24年3月31日退職予定)	1. 高齢者の口腔健康とQOLに関する研究 2. 顎関節障害, 咀嚼・嚥下障害に関する研究 3. 補綴前外科処置としての骨延長と骨移植に関する研究
	准教授 野谷 健治	1. 咬合の回復・維持と老化 2. 加齢と顎運動に関する研究 3. 加齢と食生活, 生活習慣との関係

口腔病態学専修

教室名	指導教員	主たる研究内容
口腔病理病態学	教授 進藤 正信	1. 口腔がんにおけるcancer stem cellの解析 2. 口腔がんの浸潤・転移のメカニズムについて 3. 口腔がんの抗がん剤耐性機構の解明
	准教授 東野 史裕	1. RNAの制御を介したウイルス発がんの解析 2. RNA結合タンパクと細胞がん化の関連 3. ウイルスを利用したがんの治療のためのトランスレショナルリサーチ
口腔分子微生物学	教授 柴田 健一郎	1. 微生物由来リポタンパク質の構造と生物活性に関する研究 2. 自然免疫系における微生物抗原認識機構について 3. 自然免疫系における微生物の認識と排除
	准教授 安田 元昭	1. ヒトアデノウイルス初期遺伝子産物の解析 2. Toll-like receptorの抗原認識機構について 3. ヒトパピローマウイルスの初期遺伝子産物の機能解析
細胞分子薬理学	教授 鈴木 邦明	1. 硬組織形成におけるATPase及びホスファターゼの機能に関する研究 2. Na, K-ATPaseの調節と反応機構に関する研究 3. ATPaseをターゲットにした麻酔関連薬, エストロゲン及びフッ化物の作用機構の研究
	准教授 出山 義昭	1. 骨代謝機構におけるATPase及びホスファターゼの機能に関する研究 2. 口腔顎顔面領域の疾患による硬組織病変の病因論と薬理学に関する研究 3. 骨芽細胞と破骨細胞の相互作用に関する研究
口腔診断内科学	教授 北川 善政	1. 口腔癌に対するPET診断に基づいた治療 2. 口腔粘膜難治性疾患の発現機序とその制御に関する研究 3. 口腔粘膜および顎骨の再生治療
	准教授 野谷 健一	1. 口腔癌の予後因子に関する基礎的研究 2. 口腔癌の化学療法に関する研究 3. 口腔粘膜疾患の免疫組織学的研究
口腔顎顔面外科学	特任教授 戸塚 靖則 (平成24年3月31日退職予定)	1. 口腔癌に関する基礎的ならびに臨床的研究 2. 顎関節疾患に対する低侵襲性外科療法の有効性に関する研究 3. 顎骨の再生およびデンタルインプラントに関する研究
	准教授 鄭 漢忠	1. エナメル上皮腫の反復処置法に関する研究 2. 骨格性咬合異常の形態的・機能的改善に関する研究 3. 高齢者ならびに口腔癌術后患者に対する摂食・嚥下機能に関する研究
歯科放射線学	教授 中村 太保 (平成24年3月31日退職予定)	1. 口腔領域の悪性腫瘍の放射線治療における臨床的研究 2. 顎・顔面領域の画像診断に関する臨床的研究 3. 口腔癌関連遺伝子と放射線治療に関する研究
	特任准教授 滝波 修一 (平成24年3月31日退職予定)	1. 顎・顔面領域の画像診断に関する研究 2. 放射線治療における放射線障害に関する研究 3. 画像読影に障害を及ぼすアーティファクトに関する研究
歯科麻酔学	特任教授 福島 和昭 (平成24年3月31日退職予定)	1. 生体のストレス反応に関する基礎的, 臨床的研究 2. 各種周術期管理と心機能に関する研究 3. 麻酔薬の作用機序に関する研究
	准教授 藤澤 俊明	1. 静脈内鎮静法からの諸機能の回復に関する研究 2. Target controlled infusion systemを用いた静脈内鎮静法管理の研究 3. 歯科処置・手術における全身管理中の各種モニターに関する研究
血管生物学	特任准教授 樋田 京子	1. 腫瘍血管内皮細胞を標的とした治療法の開発を目指した研究 2. 腫瘍血管内皮が異常性を獲得する機序についての研究 (がん微小環境) 3. 臓器, 疾患別の血管の特異性解析 4. 組織再生を目指した血管内皮前駆細胞に関する研究

顎機能医療学（協力講座）

教室名	指導教員	主たる研究内容
顎咬合学	准教授 山口 泰彦	1. 顎関節症の診断，治療法に関する臨床的研究 ----- 2. 咀嚼筋の筋活動，エネルギー代謝，筋血流量に関する研究 ----- 3. 夜間ブラキシズムとストレスに関する研究
顎口腔機能改善学	准教授 石川 誠	1. 歯・顎の欠損に対するインプラント治療の臨床的研究 ----- 2. インプラント治療前処置としての骨造成に関する研究
顎口腔形成学	准教授 三古谷 忠	1. 顎発育を考慮した口唇口蓋裂治療に関する研究 ----- 2. 口唇口蓋裂の分子遺伝学的研究 ----- 3. 鼻咽腔閉鎖機能に関する研究

長寿口腔科学（連携講座）

講座名	教員名	主たる研究内容
長寿口腔科学	客員教授 松下 健二	1. 一酸化窒素の歯周組織における役割とその応用 ----- 2. 血管病としての歯周病の病態解析とその制御

※長寿口腔科学講座での研究指導を希望する場合は、あらかじめ歯学研究科教務担当に相談すること。

個人情報の取扱いについて

- (1) 本学が保有する個人情報は、「独立行政法人の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人北海道大学個人情報管理規程」に基づき、保護に万全を期しています。
- (2) 出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所、その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選考実施）、②合格発表、③入学手続、④入学者選抜方法等における調査・研究、⑤これらに付随する業務を行うために使用します。
- (3) 出願に当たってお知らせいただいた個人情報のうち、合格者については入学後の①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、③授業料等に関する業務を行うために使用します。
- (4) (3)の合格者の個人情報で、氏名、住所に限り、「北大フロンティア基金」、本学関連団体である①北海道大学学生後援会、②財団法人北海道大学クラーク記念財団及び③北海道大学歯学部学友会からの連絡に利用する場合があります。